

Profile

Yuzuki Matsushita

東寺真言宗・宝善院副住職

1980年生まれ。神奈川県・私立相洋高等学校、国際基督教大学教養学部人文科学科卒業。文学研究科英米文学専攻博士前期課程修了。東寺伝法学院にて修行。超宗派の仏教徒が集うウェブマガジン「彼岸寺」の運営など、僧侶としての情報発信を積極的に行っている。

switch!

家業を嫌って文学の道へ

私は寺に生まれましたが、仏教にはまったく関心がなく、親も「継いでも継がなくてもいい」と、継ぐことを求めませんでした。好きだったのは文学や映画などの物語。高校時代は、『エヴァンゲリオン』を観て、東浩紀氏の批評を読み、「生きることに意味や目的がない」と考えていました。

大学ではアメリカ文学を専攻しました。小・中・高と異なり、大学は完全に自分自身が選択した場所。そこで自分と近い感覚の人たちと出会って大変刺激を受けました。

switch!

大学院を休んで修行

文学研究者を目指し、大学院へ進みましたが、1年の冬、生きていくことに限界を感じました。生きることに根拠が感じられないのに、生きなければいけないことがつらかった。世俗を離れて休息したい。身近にあるものにすがりついた先が、仏教でした。1年間、僧侶の修行機関へ。初めてのことに慣れるのが精いっぱい毎日に、頭が空っぽ

生きていくことがつらかった学生時代。 修行によって元気を取り戻した。

になり、しだいに悩むこともなくなっていきました。当初は知識もなく入った仏教の道ですが、神に与えられた人生には意味があると思う一神教より、生きることの意味や絶対的な真理がないことを前提とする仏教のほうが、私に合っていたようです。

switch!

宗教家の道を模索する

いまは実家の寺で副住職として働いています。これまで仏教に興味をもつきっかけづくりをしようと仏教のウェブマガジン「彼岸寺」を運営して本を出したイベントを行ったりしてきました。しかし、仏教に興味をもってもらっても、そこから先に進み、仏教を生活に取り入れてもらうのはまだまだ難しい状況のままです。これからは仏教を学びやすい環境づくりをしていきたいと思っています。仏教界には困難な状況が多いだけに、やりがいもとても大きいです。

高校生には、自分の可能性を自分で発見してほしいと思います。人の考えに従ってばかりでなく、積極的にいろいろな環境に自分を置いてみてください。

僧侶

松下弓月さん (30歳)

スイッチの入った
あの時

じぶん
switch!